

# 地元由来の要素を織り込んだ「わたしたちの商店街」

シャポー小岩



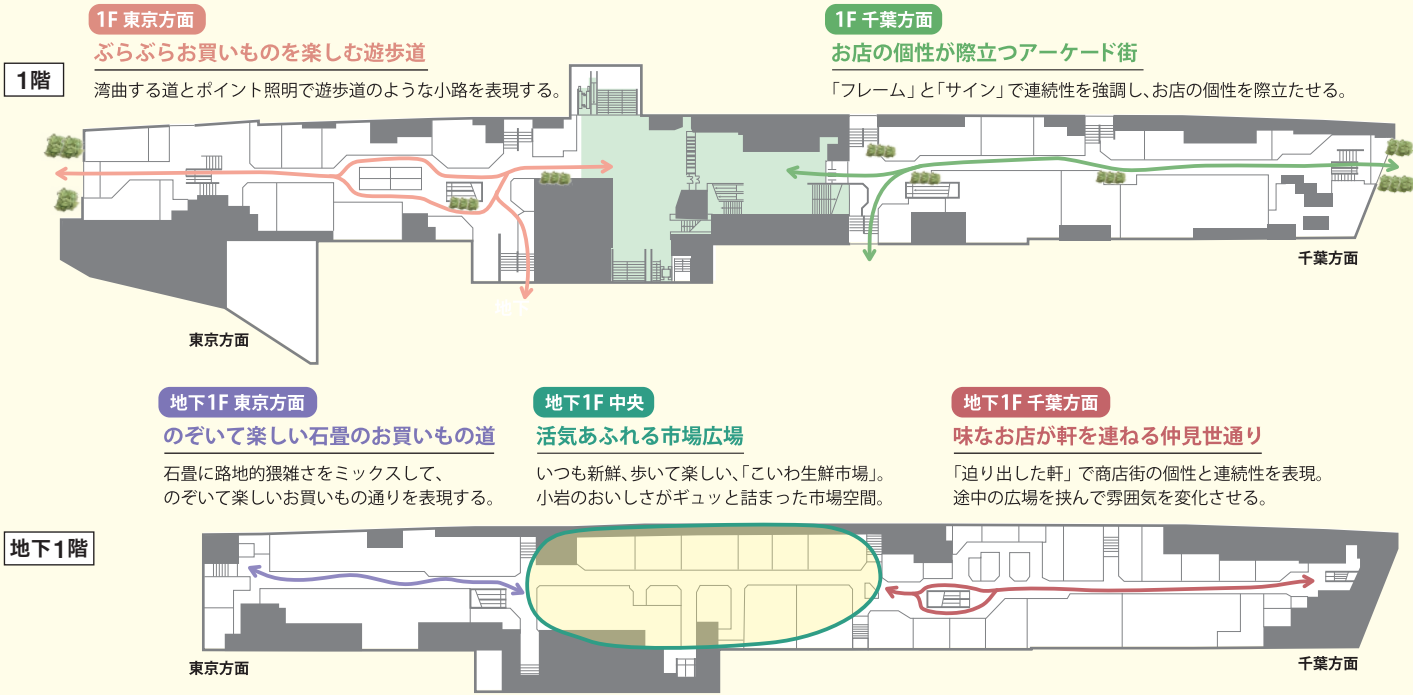
東京方面（西側）エントランス。柱などに甲和焼の赤系の色を配した。区道拡幅のためセットバックさせている



壁面に地元アーティストの作品を掲げた



1階の「ぶらぶら買いものを楽しむ遊歩道」。照明は、照度を抑えつつ明るめの調色とし、落ち着きと安心感を両立。床に灯りの濃淡ができるようにしてニュアンスを演出した



## 「小岩らしさ」をデザインに

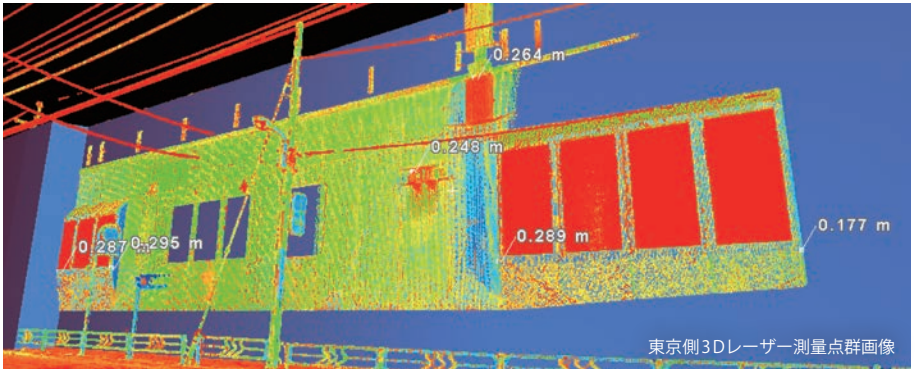
JR 総武線小岩駅に直結したショッピングセンター（SC）、シャポー小岩。ジェイアール東日本都市開発が展開する6カ所のシャポーの一つで、1972年の総武線高架化とともに誕生した。

開業50周年を間近に控えた2019年頃、全面的なリニューアルの計画が浮上。回遊性・買い回り性の良い環境と商空間の演出、動線計画の見直し、老朽化した設備の更新などを提案した。ポイントとなったのは、地元である「小岩らしさ」の表現だ。デザインの基準として、小岩に由来するものを織り込んだ。ストアコンセプトは「わたしたちの商店街」。1階と地下1階の二層にわたる東西300mの細長い平面に、それぞれ個性を持った四つの「小路」と、生鮮市場に見立てた一つの「広場」を配置し、多様な商店が連なる商店街のにぎわいをつくり出した。

また、地名の由来とされる「甲和里」の名を冠した焼物「甲和焼」の赤系・黒系の色を玄関口の色として採用。アートワークには地元の作家を起用し、「江戸川エキサイティング花火」などをテーマとした壁画を掲出した。

## 高架下の制約を個性に昇華

既存の施設は、鉄道高架橋の下という特性上、一般的な建築物とは異なる仕様が



東京側3Dレーザー測量点群画像

られた。例えば1階の床は、橋脚（柱）にコンクリートを巻き立て、その厚みを利用して梁を架け渡してあった。1階天井裏には高架橋のための耐火コンクリートが打設しており、その上の屋根はじかに高架軌道の床板となっている。

このため、SCの階高を現行以上に高くすることはできない。そこで、天井を梁背の上端まで上げ、露出した梁にミラーを貼って存在感を消すとともに、空間に奥行きを感じさせる仕掛けとした。

また今回、道路拡幅のため施設西側の外壁をセットバックさせることが与条件となっていた。これを機に、現行法に照らし合わせ、既存不適格・不適合となっている箇所を3Dレーザー測量により、基準値を超える部分が見える化し、全て適法とすることとした。

## シャポー小岩

所在地	東京都江戸川区
用途	商業施設
発注者	ジェイアール東日本都市開発
施工	鉄建建設
敷地面積	9,549.01㎡
建築面積	8,860.68㎡
延べ面積	16,124.82㎡
改修面積	16,124.82㎡
階数	地上3階、地下1階、高架下2層
構造	S造 一部RC造
開業	2024年3月
〈担当〉	
統括	伊東義博
建築担当	岡田果奈
構造	本山次郎
設備	松山光利、土岐俊
電気	池田庄弘、小山和歌子
工事監理	伊東義博、岡田果奈、小山和歌子、土岐俊、本山次郎
内装デザイン	ジラス・ネットワークス事業共同組合

## PROJECTS シャポー小岩

当社HPでも同物件のご紹介をしております。ぜひ、ご覧ください。

